

唯もう私の為る事とは一から十まで面白くなく覺しめし、箸の上げ下しに家の内の楽しくないは妻が仕方が悪るいからだと言ひ仰しやる、夫れも何ういふ事が悪い、此処が面白くないと言ひ聞かして下さる様ならば宜けれど、一筋に詰らぬくだらぬ、解らぬ奴、とても相談の相手にはならぬの、いはゞ太郎の乳母として置いて遣はすのと嘲つて仰しやる許、ほんに良人といふではなく彼の御方は鬼で御座りまする、御自分の口から出てゆけとは仰しやりませぬけれど私が此様な意久地なして太郎の可愛さに気が引かれ、何うでも御詞に異背せず唯々と御小言を聞いて居りますれば、張も意気地もない愚うたらぬ奴、それからして氣に入らぬと仰しやりまする、左うかと言つて少しなりとも私の言条を立て、負けぬ氣に御返事をしましたら夫を取てに出てゆけと言はれるは必定、私は御母様出て来るのは何でも御座んせぬ、名のみ立派の原田勇に離縁されたからとて夢さら残りをしいとは思ひませぬけれど、何にも知らぬ彼の太郎が、片親に成るかと思ひますると意地もなく我慢もなく、詫て機嫌を取つて、何でも無い事に恐れ入つて、今日までも物言はず辛棒して居りました、御父様、御母様、私は不運で御座りますとて口惜しさ悲しさ打出し、思ひも寄らぬ事を談れば両親は顔を見合せて、さては其様の憂き中かと呆れて暫時いふ言もなし。